志賀高原　1．竜王山～丸山林道　2．寺子屋峰～岩菅山　3．焼額山～奥志賀

2009 年 2 月 6～8 日

メンバー：白土、鈴木、神戸 (記)

行程
2/6(金)　竜王スキー場トップ　9:50～10:35 1900m 地点～12:00 丸山林道～13:00 二俣～14:30 竜王スキー場駐車場

2/7(土)　寺子屋スキー場トップ　9:20～10:35 2085mP の下のコル～12:10 山頂手前のコル～13:00 岩菅山～14:20 キジ場のコル～15:10 林道～15:50 奥志賀ゴンドラ前バス停

2/8(日)　焼額山スキー場トップ　9:05～10:25 竜王山 1900m 地点～11:20 トラバース手前 1750mP～12:45 奥志賀高原スキー場

2/6(金)　雪のち晴れ
　ゴンドラを降りると吹雪いていて、次のリフトも動いていないので、しばらくレストランで時間をつぶす。リフトが動き出し出発。雪は小ぶりになったのでゲレンデ脇の樹林に入っていく。雪はやんで空が明るくなってきた。今日は鈴木さんが先頭。ゆるい登りのはずなのに、なかなか進まずシールをつける。すぐに下りになりシールをはずす。雪質はふかふかでとても滑りやすい。竜王山の北の尾根は広くなだらかで急斜面はまったくなく木もそんなに多くない。人はまったくいなくてとても静かなルートだ。林道に近づくと少こし木が多くなった。いったん林道に出るが最初のカーブの所から沢までショートカットで北東の尾根に入る。登山道があるようで小屋もあった。沢に出るすこし手前で斜面をしばらくトラバースするが、途中雪が崩れて少し落ちてしまった。すぐ止まったからよかったけれど、沢沿いの斜面のトラバースは怖い。林道は平坦な所が多く歩きが多かった。小丸山スキー場を横断し少し下の林道へショートカットして、竜王スキー場の一番奥の宿の前にちょうど出ることができた。渋温泉に入って食事をして湯田中の駐車場に泊まった。

2/7(土)　晴れ
　朝から天気がよい。寺子屋スキー場からは黒姫や火打がよく見える。今日も鈴木さんが先頭。最初のピークは右からまわりこんで尾根に出る。細い尾根なのでルートはわかりやすいけれど、結構、雪庇が出ている。木も結構出ていてスキーでは特に歩きにくく、尾根をはずれて歩かなければならない場所もあった。今日も人はいなくて交代でラッセルするけれど、白土さんに追いつかず、やってもらう事が多かった。コースタイムよりも時間がかかって 13 時に岩菅山山頂。焼額山スキー場の方から登ってきたという単独の男性が先に着いていた。山頂直下は少し急斜面だけれど雪質がよいので滑りやすかった。アイスバーンだと怖そう。登りのルートからすぐにはずれて東の樹林帯へトラバースしていく。見るからに濃い樹林帯だったけれど、入るともっと大変だった。とにかく木が多い。尾根も広くてわかりづらく、ＧＰＳのルートからはずれないように注意が必要。コンパスだけだと読図が難しそうだ。みんな転んでたけれど、怪我なく林道にたどり着けて良かった。木戸池温泉ホテルで温泉に入って、焼額山スキー場のレストランで夕食。焼額山スキー場の駐車場に泊まった。

2/8(日)　雪のち晴れ。強風。
　朝、ゴンドラ乗り場に移動している時から風が強く吹雪いている。第二ゴンドラは止まっていて、第一ゴンドラに移動。ゴンドラを降りても雪はやまないが、少しだけ歩いてみる事にする。今日は私が先頭。歩いてすぐ第二ゴンドラについた。稚児池はわからず東へ向かってしばらく歩くとツアーコースの看板が出てきた。雪はやんで空も明るくなってきたので、先へ進むことにした。最初の斜面は切り開か

れていて、雪はふかふかで楽しい！ツアーコースの看板とテープがたくさんあって、ＧＰＳは活躍しないまま。竜王山手前のコルに着くと日が差してきて空が青い。人がいなくて静かで白い木立に雪が積り、とても雰囲気のいいクラシックルートにみんな大満足。ここからシールをつけて 30 分かからず、一日目の山頂の反対側に着いた。焼額山山頂から谷の向かい側へ木のないいい斜面が続いていて、滑り降りてくる人がいた。シールをはずして、ここからは慎重にルートを探していく。沢を2度、渡わたるのだけれど、その場所を見極めるのが難しい。2度目では雪壁を超えるのに、スキーを脱いで木につかまってなんとか乗り越えた。そこからは沢の右岸の斜面の長いトラバースになる。標高を下げないようにと言われていたのに、滑りはじめるとすぐ標高は下がってしまい、後半はずっと登りのトラバースになってしまった。がんばって登り返したおかげで、目的のスキー場の地点へぴったり出ることができた。到着した奥志賀高原スキー場へは以前ゲレンデスキーで来たことがあり、何年か経った今、ゲレンデも滑らず、こんな事をしているとは思いもしなっかた･･･。上林温泉「せきや」に入って、定食屋で食事をして帰宅。